

REQUIRE研究会

第23回研究集会



介入研究の線形混合モデル

- ① 「介入研究の線形混合モデル」の要約
後藤 禎人
(京都大学大学院 医学研究科 健康情報学分野 博士課程)
- ② 「介入研究の線形混合モデル」の入門
市倉 加奈子
(東京医科歯科大学大学院 特任研究員)
- ③ 「介入研究の線形混合モデル」の報告事例
笹井 浩行
(筑波大学医学医療系 臨床研究地域イノベーション学
日本学術振興会特別研究員PD)
- ④ 「介入研究の線形混合モデル」の書き方
市川 周平
(三重大学大学院 医学系研究科 助教)

会場:東京医科歯科大学湯島キャンパス(御茶ノ水駅より徒歩1分)
1号館西7階 口腔保健学科 第3講義室

日時:2015年12月19日(土) 14:30~17:40

会費:500円

参加登録:<http://kokucheese.com/event/index/347828/>

※懇親会にも、ぜひお気軽にお越しください(約4000円)

事前登録制

(~~〆~~切: 12月12日)

臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会

第 23 回研究集会

目 的 :	<p>本研究会は、研究報告の質 (reporting quality) 向上のための統計学の勉強会です。</p> <p>臨床疫学系の多くの研究者は、統計学の専門家ではありません。我々は、論文を書くための「道具」として、統計学を使っています。我々が論文を書く際は、より良い研究になるように、「適切」に方法や結果を記述したいと願っています。国際的には、統計手法別に、どのような情報を論文で記述すべきかを規定しているガイドライン (reporting guideline) が数多く公表されています。しかし、我々は、残念ながら、こういったガイドラインの学習にまで、なかなか手を伸ばせないために、「ある統計手法を使ったものの、どのように論文に報告すれば良いかわからない」といった問題によく遭遇していると思います。</p> <p>こうした問題を解決すべく、本研究会では、「データ解析環境 R を共通言語として、より良い研究をするために、研究報告の質を向上させるように一緒に勉強する場を提供すること」を主眼としています。このような場を利用して、臨床疫学系研究者が統計学の勉強を継続する「熱意」を保ち、より良い研究を国際的に発信していくことを願っています。</p>
会 場 :	<p>東京医科歯科大学 湯島キャンパス 1号館西 7階 口腔保健学科第 3 講義室 (最寄り駅: JR「御茶ノ水駅」, 丸ノ内線「御茶ノ水駅」, 千代田線「新御茶ノ水駅」)</p>
開催日時:	<p>2015 年 12 月 19 日 (土)</p> <p>研究会 (500 円/事前登録制): 14:30~17:40</p> <p>懇親会 (有料: 4000 円程): 18:00~20:00</p>
定 員 :	<p>30 名 (開催最低人数: 6 名)</p> <p>注) 1 研究室あるいは 1 企業からの参加人数を制限させていただきます。</p>
参加資格:	<p>1. 臨床疫学系の研究者 (大学院生以上)</p> <p>2. 発表者になることを厭わないこと</p> <p>3. データ解析環境 R を使用したデータハンドリングの基礎がわかること</p> <p>(目安として「舟尾暢男・高浪洋平 (2005) データ解析環境 R. 工学社」の第 2 章から第 5 章の内容を理解していること)</p>
参加方法:	<p>1. 今回の研究会に参加希望の方は、告知 S (http://kokucheese.com/event/index/347828/) にて参加登録下さい。登録方法は、画面中央の「お申し込みはこちら」ボタンをクリックすると登録画面に進みます。手続きが完了すると「お申し込み完了」メールがすぐに送付されます。</p> <p>2. ML 加入者が優先参加できます (https://groups.google.com/d/forum/require_epi)。</p>
注 意 :	<p>発表資料は前日にデータで送付します。各自印刷してお持ち下さい。</p>
世 話 人 :	<p>国里愛彦 (専修大学 人間科学部 心理学科 准教授)</p>
主 催 者 :	<p>奥村泰之 (一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究員)</p> <p>市倉加奈子 (東京医科歯科大学医学部附属病院 特任研究員)</p>
協 力 者 :	<p>松岡志帆 (東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 博士課程 2 年)</p>
謝 辞 :	<p>本研究会は、寄附金により運営されています (http://japangiving.jp/p/886)。健全かつ継続的な運営体制の構築のため、御支援の程よろしく申し上げます。</p>

介入研究の線形混合モデル

14:00	開場
14:30	開会の挨拶 (5分) 国里愛彦 (専修大学人間科学部心理学科 准教授)
14:35	「介入研究の線形混合モデル」の要約 (発表 15分) 後藤禎人 (京都大学大学院 医学研究科 健康情報学分野 博士課程)
14:50	「介入研究の線形混合モデル」の入門 (発表 40分; 質疑 15分) 市倉加奈子 (東京医科歯科大学 特任研究員) 休憩 (10分)
15:55	「介入研究の線形混合モデル」の報告事例 (発表 25分; 質疑 15分) 笹井浩行 (筑波大学医学医療系 臨床研究地域イノベーション学/日本学術振興会特別研究員 PD) 休憩 (5分)
16:40	「介入研究の線形混合モデル」の書き方 (発表 40分; 質疑 15分) 市川周平 (三重大学大学院医学系研究科 助教)
17:35	次回の研究会の調整 (5分)
17:40	閉会
18:00	懇親会 (20:00 終了)

注) 研究会の主旨に従い、発表者に講師料等は一切お支払しておりません。

臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会
 第23回研究集会
 会場までの順路

日時：2015年12月19日(土) 14:30~17:40

会場名：東京医科歯科大学 湯島キャンパス 1号館西7階 口腔保健学科第3講義室

 **TMDU** キャンパスマップ
 東京医科歯科大学
 Tokyo Medical and Dental University Campus Map

